

全国教職員セミナーin富山開催 大学生のためのセーフティネット～学生支援を考える

さる、9月7日から8日にかけて全国教職員セミナーが富山大学で開催されました。テーマは「学生生活支援を考える」。富山大学学長より歓迎のごあいさつの後、松野尾実行長より開催趣旨説明があり、ローン化した奨学金問題を全国に投げかけた大内裕和教授の講演とシンポジウムがおこなわれました。初日の懇親会や二日目のオプション企画ではおわら風の盆の登場。二日目は分科会で各分野の取組みを交流。オプション企画ではイタセンパラを展示したひみらボ水族館見学など充実したセミナーとなりました。



参加者からは、「大内先生の講演はととても分かりやすく、大変勉強になった」、「教務係の方にもぜひ参加してほしい」ととても好評でした。全国教職員委員会では今回の講演、シンポジウム等の内容を書籍として出版し、多くの方々にも読んでいただけるようにすることを確認しています。富山大生協をはじめ北陸エリアの教職員委員の皆さん、お疲れさまでした。

CONTENTS

●全国教職員セミナー

・大学生のためのセーフティネットを考える

●特集

- ・成年年齢引き下げと大学生協の課題を考える
- ・日本酒持ち寄りパーティ

●各地の取組み

- ・北陸ブロック SDG's 学習会
- ・京滋・奈良エリア ピースナウなら
- ・大・兵・和エリア ユメのライフプランセミナー

●ブロック教職員企画

- ・学びと交流の徳島ツアー
- ・鹿害学習フィールドワークin奈良



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

ご質問、お問い合わせ、紹介したい活動等、右記の連絡先までお願いします！



教職員担当 横山 治生

Haruo.Yokoyama@ma1.seikyoku.ne.jp

会員TOPICS



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

奈良女子大生協 日本酒持ち寄りパーティ

8月3日、四回目を迎える奈良女子大学生協の「日本酒持ち寄りパーティー」に参加しました。参加費1000円(おつまみ代)と、「日本酒」に限らず、お気に入りのお酒を持ってきたら参加できるという、楽しく交流することを目的とした企画です。

今回はいただきものの久留米の「庭のうぐいす」と小樽で購入した「宝川」の純米酒2本を持参しました。参加者の中にはわざわざ故郷・青森のお酒を取り寄せて参加された職員さんや、自慢の手作りこだわり梅酒持参の先生もいらっしゃいました。奈良女生協の企画ではありますが何故か徳島大学の1先生(元奈良女子大教員)、龍谷大学のU先生も参加、どこの生協が企画しようが楽しいことには人は集まってしまうものみたいです。お料理は奈良女生協の手作りおつまみです。恒例となったクイズ大会、今回のテーマは「奈良女子大学生の生活実態」。意外と書籍購入費が少なかったのが気になります。余ったお酒は参加者でお好みを持ち帰ります、これもまたお酒の「交換会」みたいで楽しいです。私は奈良女生協専務の用意した猫ちゃんラベルの滋賀のお酒を連れて帰りました。

皆さんの生協でもどうでしょう、やってみませんか？

文責：今山稲子(京都大/ブロック教職員副委員長)



ピースナウ!!なら

奈良県立大・奈良教育大・奈良女子大合同企画

6月3日(日)奈良3大学合同企画としてPeace Now!奈良が行われました。奈良教育大学から15名、奈良女子大学から9名、奈良県立大学から15名の学生委員の参加がありました。また奈良県生協連やならコープ平和の会、そのほかにも多数のオブザーバーも参加し実行委員含め50名で今回の企画が行われました。午前は奈良市内にある戦争にまつわる跡地などをめぐり、午後には奈良での戦争体験者のお話を聞きました。それらをもとに参加者同士で意見を深めあうワールドカフェ企画や自らの視野を広げていく企画も行いました。一日を通して奈良の戦争について知り、これからの平和について語り、多面的、多角的にもの事を考えることができ充実した一日を過ごすことができました。



奈良女子大構内に今も残る奉安殿(左)



各キャンパスで ビヤ祭り開催!

京都大生協 キャンパス運営委員会

●桂：台風12号襲来直前の7月27日、恒例の「桂ビア祭り」を開催。連日の猛暑、どうなるとやたらと少し心配していましたが、台風の影響のせいか、涼しく天気は快晴、参加者の出足も上々。今年には舞鶴水産、JAやましろの出店もありメニューもバラエティに富んでいました。お薦めは舞鶴水産の「アジ丸干し」、と聞くだけではなんだか小さいサイズを想像しますが、インスタ映えばかりのびっくりサイズ!!またJAやましろ関係では抹茶等の物販もありました。

●7/27(金)宇治キャンパスでは17:30に食堂の再開に合わせてビアホールを開催。今年の宇治ビアホールは「食堂のメニューに合わせてビールが飲める！」がコンセプト。食堂メニューにプラスステーキや串カツ、フライドポテト、枝豆も提供。教職員さん、院生さんの利用のほかご家族での利用もありにぎやかなひとときとなりました。ビールはホワイトナイルを提供し合計114杯。昨年も好評だった「サイコロゲーム」を実施。「1か6のぞろ目が出ればビール1杯無料！」当選率は6.25%で今年も好評でした。●北部キャンパスは台風の関係で残念ながら中止となりました。

エリアTOPICS



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

大・兵・和エリア

ユメへのOne Stepセミナー2018 開催

～Learn for Dream かしいお金の使い方～

日時：9月12日(水) 13:00～17:00

場所：甲南大学 岡本キャンパス

参加者：39名

主催：兵庫県・大学生協関西北陸事業連合

協力：関西北陸ブロック、近畿労働金庫、甲南大学生協



参加者はアイスブレイクで自己紹介



講演「クレカと賢い消費者」 労金の中須氏



クレジットカード*カシメーションによるワークショップ*

大・兵・和エリア 9/21

ユメのライフプランセミナー

「ユメのOne Step セミナー～Learn for Dream かしいお金の使い方～」からの学びを深めるために、「消費者市民社会」・「ライフプランニング」をテーマに開催しました。

■ろうきんの職場見学

仕事内容に関するDVDを視聴した後、職場見学。初めて社内を見学し、将来社会人になったらこのような職場で働いてみたいと将来をイメージすることができた。社内が大変広くて、参加者も驚いていました。

■近畿労働金庫の職員の方との懇談会

A班とB班に分かれ、懇談会を行った。初めに自己紹介を行い参加者からの質問を行った。ろうきんはどのような人材を採用しようとしているのか、新人時代に苦労したことについてなど多くのことを聞くことができ、とても参考になりました。

(参加者の声)

近畿労働金庫(ろうきん)とはどのような事を行うのか、銀行とどう違うのか、どのような活動をしているのかなど分からなかったが、このセミナーに参加して知ることができた。また、ろうきんの取り組みや非営利だという事に驚いた。

職員の方との懇談会では将来役立つ話を聞き、就活や今からや今後どのように貯蓄などを行っていけばよいのかを知ることができ、参考になった。

社会人の準備期間である大学生にとって、お金に関する知識や将来設計を考えることは重要です。

そこで大・兵・和エリアの消費者教育推進チームでは「ユメのOne Step セミナー～Learn for Dream かしいお金の使い方～」と題して「消費者市民社会」・「ライフプランニング」をテーマに消費者セミナーを開催しました。

講演では「消費とは」「消費者市民社会とは」「消費者教育とは」をテーマに、効果的かつ身近な例を交え、学生委員が消費者市民教育・金融教育を実践していく意義が提起され、金融や経済活動焦点を当てたすごろくゲームも行いました。

次に、近畿労働金庫地域共生推進室の中須雅治氏よりクレジットカードや借金に関してのかしい向き合い方やリスクについてわかりやすく、かつ実態に即した内容でお話いただきました。

若者が購買行動や経済判断をするうえで必要な知識である借金の返済期間や金利、返済金額を実感するグループワークを実際の金融機関・カード会社のシミュレーターを使用しながら行いました。普段、リボ払い・カードローンなど何気なく聞いていた支払方法を、比較して、リスク度を話し合うことで今後の使い方の参考にしていきたい等の今後の自分自身の生活に活かしたいという意見が多くありました。



近畿労金の活動を紹介



学生委員会の活動を紹

エリアTOPICS



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

北陸エリア

横畑先生（富山大生協理事長）を迎え、SDGs学習会

日時：6月16日(土) 11:00~17:00

場所：石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)

北陸エリアでは社会的課題推進委員会とエリア運営委員合同で富山大学の横畑先生にSDGsとはどういうものなのかということ講演していただいたうえで、日頃の取り組みなどがSDGsの17個の目標のどれに当てはまるかなどを考えるワークを行ないました。

<参加者の声（フィードバックシートから）（学生のみ）>

Q. SDGsのワークショップを通して、「持続可能な社会」の実現に向けて、何ができると思いますか？

- ・一般教養も含めた大学の講義で学んだ知識を、自分でもう一度考える。
- ・貧困：デポジット丼の容器を購入へ返却して10円もらえるので、それを募金箱に入れる。
- ・課題それぞれには関連性があり、ある取り組みが多くの課題の解決に寄与するので、まず自分にとってやりやすい課題解決に取り組むこと。具体的には、自分の場合、持続可能なまちづくりを学び深め、アウトプットできるようにすること。
- ・SDGsという取り組みを理解し、目標を持ち、パートナーシップを意識して課題解決に取り組むこと。



挨拶される西村理事長



挨拶される今岡学長



学生委員会の活動を紹介



報告者によるシンポジウムも行われました

奈良女子大生協

創立50周年記念 シンポジウム&パーティ

奈良女子大生協は9月8日に創立50周年を記念して50周年シンポジウムと祝賀パーティを開催しました。西村理事長より組合員満足度全国一を誇る奈良女生協の今日までの変遷や学生生活の変化を知ってほしいと挨拶。創立当時の賛同署名やニュースなど貴重な資料も残ったことから学生理事による生協の歩みのスライドや現在の学生委員会ウィンディーの活動が紹介されました。

また、シンポジウムでは元専務理事や元・現学生理事、副理事長による当時の活動の状況やエピソードなども紹介され、出席された教職員、学生も興味深く耳を傾けていました。

午後からはパーティが行われ満足度日本一は大学の誇りと今岡学長の挨拶。100名にのぼる教職員や院生、学生、連帯組織（奈良県生協連、ならコープ、事業連合、奈良エリアの大学生協）からの参加者が交流しました。

平和とあいと交流の徳島ツアー報告

企画：大学生協関西西北陸ブロック教職員委員会

楽しかったよ

梅雨の合間の快晴に恵まれ、6月9日に関西北陸ブロック教職員委員会の企画する徳島ツアーが行われ、総勢16名が阿波の地で楽しく学び交流しました。



開会挨拶をする今山さん



賀川豊彦記念館の前で



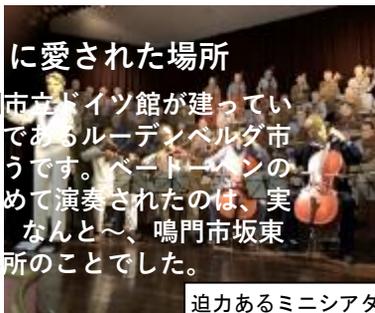
記念館会議室で玉先生の講演

なぜ徳島へ？

徳島といえば、お遍路、阿踊り、鳴門の渦潮などを思いつく方が多いのではないのでしょうか。しかし、この地が大学生協にゆかりの深い賀川豊彦が育った故郷（生誕は神戸市）であり、第一次世界大戦時には1000名ものドイツ兵俘虜を収容する大規模収容所があり、映画にもなったことをご存知でしたか。また、阿波の藍染は古くからこの地の一大産業でもありました。このツアー企画は平和と文化と協同組合を楽しく学ぶツアーなのです。

日本で一番ドイツに愛された場所

同敷地内に隣接して鳴門市立ドイツ館が建っています。この建物は姉妹都市であるルーデンベルグ市市庁舎を模した建物だそうです。ベートーヴェンの響曲第九番がアジアで初めて演奏されたのは、実今からちょうど100年前 なんと、鳴門市坂東にあったドイツ兵捕虜収容所のことでした。



迫力あるミニシアター

捕虜といえば虐待、過酷な強制労働などがイメージされますが、坂東捕虜収容者は、会津出身の所長松江大佐が捕虜を犯罪者のように扱うことを厳しく禁じ、彼の片腕となった高木大尉は7か国語に通じ捕虜の悩みの相談にも乗っていました。ラゲリでは音楽やスポーツなど自主的なサークル活動が活発で敷地内には娯楽施設まであったそうです。ドイツ兵捕虜で構成されたオーケストラ楽団は手作りの楽器やソプラノパートを男性用に編曲するなど工夫し、素晴らしい第九を演奏、盛り上がったそうです。館内には第九初演のエピソードが映像とロボットで語られる「第九シアター」があり、短時間の第九を堪能しました。

協同組合の父

賀川豊彦を育んだ徳島

生協の普及に努めた賀川豊彦は戦前においては東京学生消費組合の設立を指導し、戦後は日本生協連の初代会長をつとめ数々の社会運動の分野で活躍、日本初のノーベル賞候補にもなった人物です。また、桜美林学園の初代理事長、関西学院の理事、同志社大学で教鞭をとるなど大学関係者にも縁が深い方でもありました。彼が青年時代にすごした徳島での体験と人々との出会いがのちに、ガンジー、シュバイツァー、マザーテレサなどとなり、世界の偉人の一人にかぞえられる活躍につながります。今年は賀川豊彦生誕130年で様々な周年事業が行われています。鳴門市立賀川豊彦記念館に到着後、玉真之介先生（徳大教授・大学生協連副会長）によるミニ講演のあと、岡田健一館長による展示物の説明をいただき、賀川の足跡などを見学しました。

藍の館で藍染体験

徳島は古くから阿波藍の生産で栄え、東北の紅花と並んで藍染が有名です。阿波の文化体験ということで藍住町立「藍の館」で阿波生産の当時の様子や藍染の歴史など見学、参加者の多くも藍染を体験。ハンカチ、ストール、持参の布など、あっという間に美しい世界でただ一つのオリジナル作品の誕生です。



世界でただ一つのオリジナル藍染作品の完成！

9月30日(土)開催しました 鹿害学習フィールドワーク in奈良&ジビエ料理を楽しむ会

シカをはじめとする獣害が地域の大きな問題となっています。 関西北陸ブロック教職員委員会主催の鹿害学習はこのテーマを取り上げ、2013年から今回が6回目。

今年は<鹿の聖地・奈良>で開催しました。参加は学生2名を含む20名。台風24号の影響であいにくの雨模様ではありましたが、京都大学・高柳先生の先導で、春日大社から2時間半のフィールドワークを行って奈良教育大学に到着。食堂ホールをお借りして1時間半の座学のあと、ジビエ料理を堪能しました。

春日大社の中は、木々がたくさん生えている＝自然が豊か、としか見えませんが、先生の説明を聞くと見え方ががらりと変わります。

・鹿が下草を食べ尽くすため土がむき出し。シダくらしかない。

・種から生えた木も食べるので、木の「世代更新」ができない。

・鹿が食べない木や草しか残らない＝植生の多様性が失われている。

春日大社から住宅地、農地へと移動すると、鹿の食害から植木や農作物を守るため、フェンス、電気柵が張り巡らされていました。また鹿だけではなくイノシシの被害も大きいとのこと。今回は見ることはできませんでしたが、江戸の昔から、鹿の害が春日大社の外に及ばないように、「鹿垣」（しがき）を作っていたという歴史もフィールドワークの中で学びました。座学では、鹿害への対策とあわせ、ジビエを含む「事業」の観点や、猟をすることで（鹿などが）増えすぎない＝「共生」の観点も学びました。ジビエ料理を堪能しながら、頭お腹とも大満足の1日でした。なお「来年は大阪・箕面で」という話が出されていたことを付言しておきます。 (K.K)



小雨のなか春日大社付近のフィールドワーク



フィールドワークの後、奈良教第にて講義も



お楽しみ、〇肉をたっぷりつけたジビエ料理



成人年齢引き下げに関する新入生の意識調査結果について

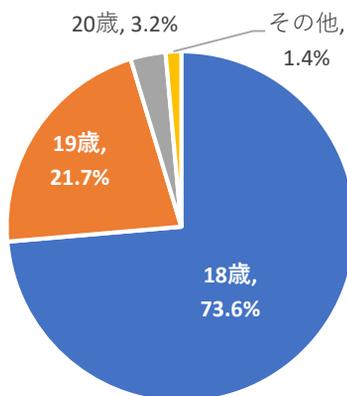
関西北陸ブロック学生委員会では、今年入学した大学生（18歳、19歳）を対象に、成人年齢引き下げに関する意識調査を行いました。調査当時は同年齢引き下げを含む民法改正法案が国会で審議中であり、マスコミ等によって徐々に認識されつつある段階でした。そのことを踏まえてデータを読み込む必要もあります。

毎年18歳年齢の学生を組合員としてむかえる大学生協の課題を考えるうえで参考になれば幸いです。

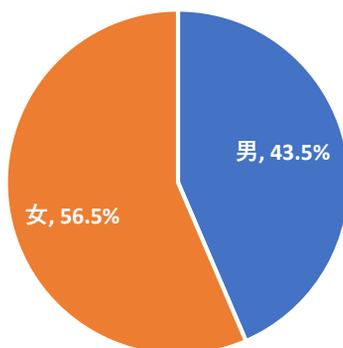
1. 調査日程：大阪兵庫和歌山エリア…平成30年5月19日
京滋・奈良エリア……平成30年5月20日
2. 調査方法：春のセミナーに参加した新入生に対するアンケート
用紙配布及びブググールアンケートによる集約。
- 3 大学別内訳（右表）

	大学	人数
京都府	京都教育大学	3
	京都工芸繊維大学	8
	京都府立大学	3
	京都橘大学	1
	同志社大学	15
	立命館大学	27
	龍谷大学	38
滋賀県	滋賀大学	10
	滋賀県立大学	14
奈良県	奈良教育大学	7
	奈良女子大学	27
	奈良県立大学	12
	奈良高専	2
兵庫県	兵庫県立大学	18
	神戸高専	2
	園田学園女子大学	4
	神戸大学	23
	関西学院大学	8
	神戸親和女子大学	1
	神戸市立外国語大学	7
大阪府	阪南大学	6
	大阪府立大学	14
	大阪大学	9
	大阪樟蔭女子大学	8
	大阪経済大学	4
	大阪電通大学	3
	大手前大学	2
	近畿大学	2
合計		278

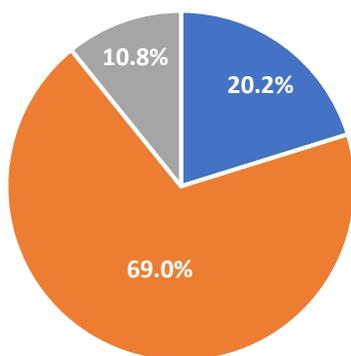
(2) 年齢



(3) 男女内訳



1. あなたは「成年年齢が引下げの議論」についてどの程度知っていますか



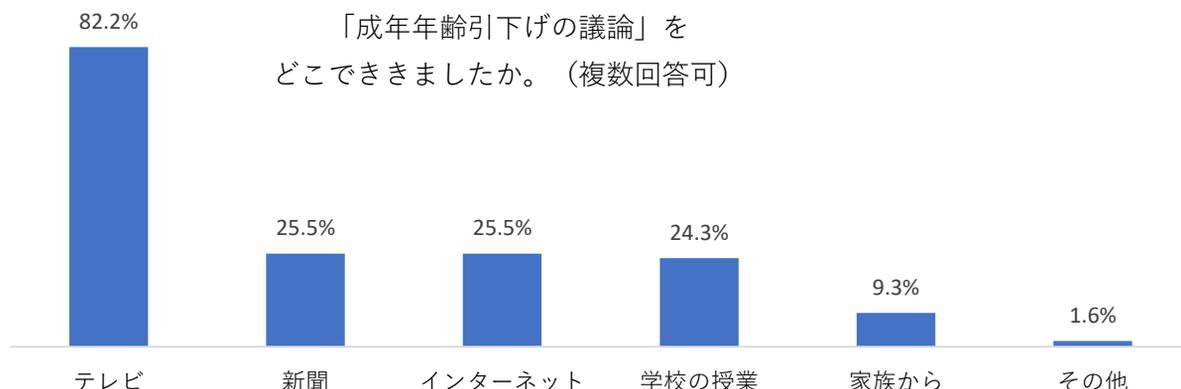
- 議論されていることを聞いたことがあり、議論の内容も知っている
- 議論されていることを聞いたことがあるが、議論の内容までは知らない
- 議論されていることを聞いたことがない

1. 成年年齢引下げに関する認知度

【問1】成年年齢引き下げに関する議論をどのくらい知っているか尋ねたところ、「議論されていることを聞いたことがあるが、議論の内容までは知らない」と答えた人の割合が69.0%と最も高くなっている。「議論されていることを聞いたことがあり、議論の内容も知っている」と答えた人も合わせると、約9割が成年年齢引下げに関する議論がなされていることを認知していることがわかる。

2. 成年年齢引下げに関する議論を知ったきっかけ

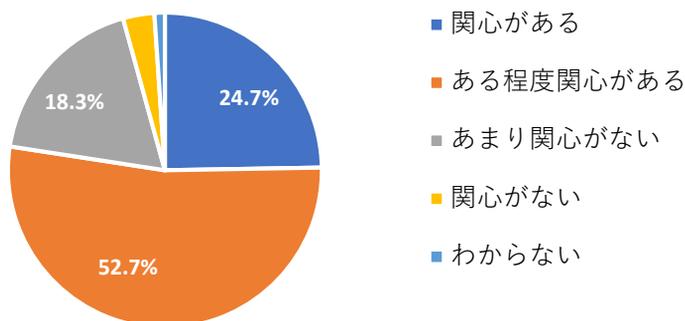
【問2】成年年齢引き下げに関する議論をどこで知ったか尋ねたところ、「テレビ」と答えた人が最も多く、82.2%だった。次いで同率で「新聞」・「インターネット」（25.5%）、「学校の授業」（24.3%）、「家族から」（9.3%）の順で割合が高かった。



3. 成年年齢引下げに対する関心

【問3】成年年齢の引下げの議論に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」と答えた人が24.7%、「ある程度関心がある」と答えた人が52.7%であり、関心が高いことがわかる。

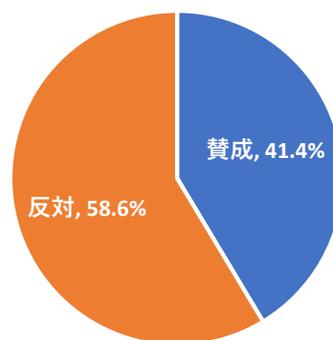
あなたは「成年年齢引下げ（20歳→18歳の議論）に関心がありますか。



4. 成年年齢引下げに対する是非

【問4】あなたは成年年齢が18歳に引き下げられることに賛成か反対か尋ねたところ、賛成が41.4%で、反対の58.6%を下回った。

あなたは成年年齢が18歳に引き下げられることに賛成ですか。反対ですか。



5. その理由

<賛成>

- ・先進国はほとんど18歳が成人年齢になっている教育段階にフィットしているから。
- ・高校卒業で自立するべきだと考えているから。
- ・高校卒業した時点で成人している方が何かと便利だと自分は思うので。
- ・早く成人になるとできることがたくさんあるから
- ・18歳からできること20歳からできることが存在し、ややこしくなるので、それであれば一律に18歳に引き下げて統一すべきであるから。
- ・選挙権が18歳に引き下げられたから。
- ・家賃や携帯電話の料金が自分で払えるのは楽だから。
- ・よりたくさん若い年齢層の意見を反映するため
- ・大学生になるため、責任が伴うようになるのだから、責任が伴う環境に早くから慣れさせるためにもそうした方がいいと思う。

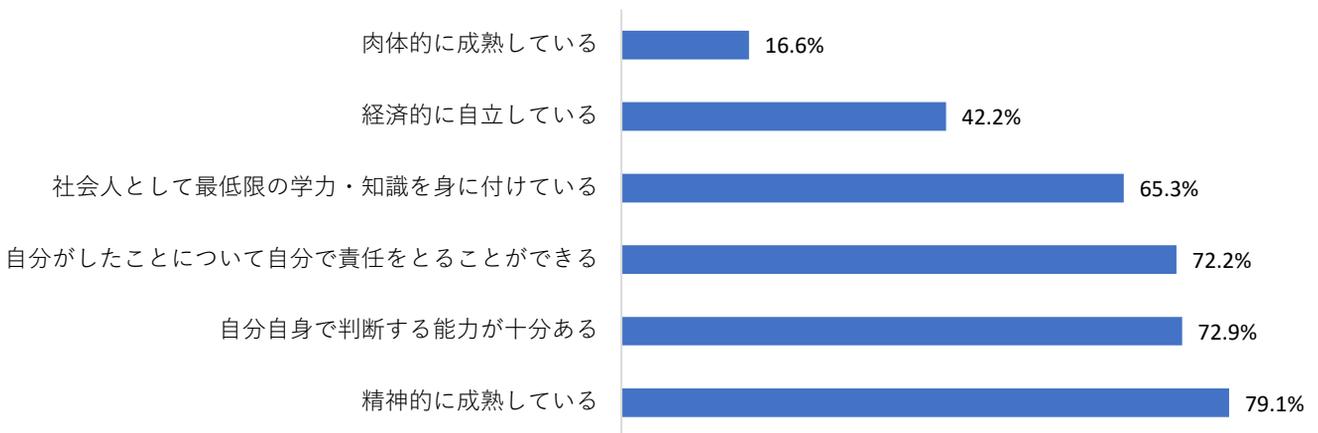
<反対>

- ・大学生になりたてで責任を負う力がまだ無いと思うから。
- ・はたちで成人っていうイメージというか、その伝統を壊したくない
- ・まだ18歳は保護されるべき
- ・最近の18歳は精神年齢が低いから。
- ・成人式が受験とかぶったら嫌だから
- ・高校生でも18歳はいるので、自由にできる範囲が広がるのは危険が多くなると思う
- ・引き下げるメリットが分からない
- ・成人式が18歳やったら受験と被って誰も行かない。
- ・18歳はまだ自分の行動に責任を持ってないから。法律によって守られるべき。
- ・まだ18歳は重大な判断を出来る年齢ではないと思うから。
- ・未成年が守られる法律が適用されなくなるといういろいろなトラブルに巻き込まれそうだから。

6. 「大人」に必要な条件

【問6】大人に必要な条件（複数回答可）は何だと思うか尋ねたところ、「精神的に成熟している」が79.1%と最も高かった。

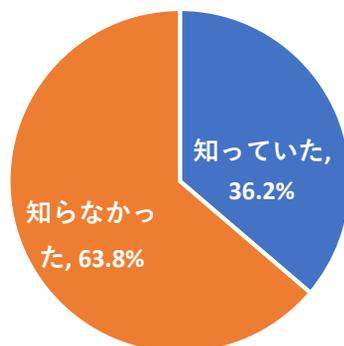
「大人」に必要な条件は何だと思いますか。（複数回答可）



7. 未成年取消権の認知度

【問7】未成年者は、未成年であることを理由に契約を取り消せること（未成年者取消権）を知っているか尋ねたところ、「知っていた」が36.2%で、「知らなかった」の63.8%下回った。

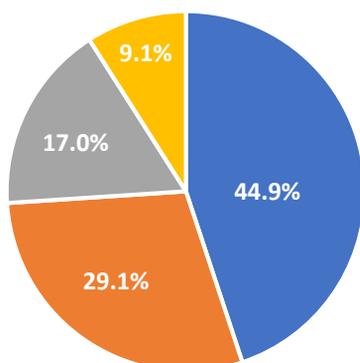
法的な拘束力を持つ約束のことを契約といいます。未成年者は、未成年であることを理由に契約を取り消せること（未成年取消権）を知っていましたか。



8. 未成年者取消権消失に対する是非

【問8】成年年齢が引き下げられ、18歳や19歳になると未成年でないことを理由に契約が取り消せなくなるについてどのように思うか尋ねたところ「問題がある」が最も高く、44.9%だった。

成年年齢が引き下げられ、18歳や19歳になると未成年でないことを理由に契約が取り消せなくなるについてどのように考えますか。

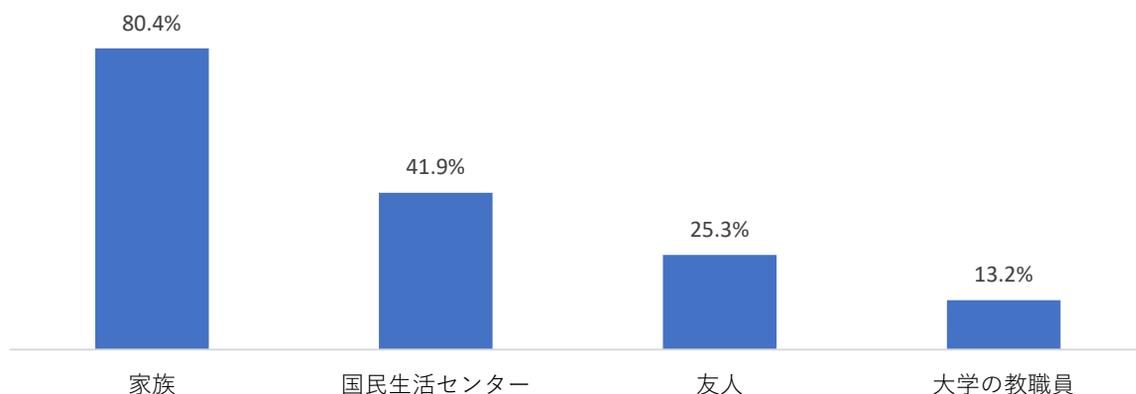


■ 問題がある ■ 問題があるが仕方がない ■ 特に問題はない ■ わからない

9. 消費者被害を受けた時の相談先

【問9】悪質商法やインターネット等で詐欺まがいの取引など被害を受けた時、どこに相談しようと思うか尋ねたところ（複数回答可）、「家族」が80.4%で最も高かった。次いで41.9%で「国民生活センター」が続いた。

悪質商法やインターネット等で詐欺まがいの取引などを受けた時、どこに相談しようと思いますか（複数回答可）



10代の若者を対象とした意識調査は珍しく、民法改正が決議された先の国会でも若者の声が直接取り上げられる場面は少なかったと言えます（参院総務委員会で田中陽喜さん〔元大・兵・和学生委員長〕が参考人として発言した程度）。それだけに今回のアンケート結果は他の消費者団体や行政機関、シンポジウムでも参考にしたい、活用したいなどの希望がよせられています。

大学生協では今回の成年年齢引き下げに伴い、未成年の契約取り消し権との関係で消費者問題はもとより、キャリア支援、保護者に向けたこれまでの取組みなどの見直しも含め検討すべきことは多いような気がしています。

理事会や部内の会議等でもぜひご活用いただければ幸いです。（編集部）